

視聴覚教育

NO.291

発行日

15.3.17

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

『プロトコル』
ネットワークを介してコンピュータ同士が通信を行なう上で、相互に決められた約束事の集合。通信手順、通信規約などと呼ばれることもある。

「視聴覚教育あれこれ」

愛知県自作視聴覚教材コンクール結果

県教育委員会・県視聴覚教育連絡協議会主催による平成14年度「愛知県自作視聴覚教材コンクール」に、岡崎市からビデオ教材部門で五点、マルチメディア教材部門で10点が賞に選ばれた。入賞作品は以下の通りである。

ビデオ教材部門

最優秀賞・教育長賞

「岡崎にも海があった 縄文海進」

自作教材制作委員会E班・AVL

優秀賞

「二七市 市を支える人々」

自作教材制作委員会B班・AVL

優良賞

「自然と共に生きる 自然保護と宅地開発」

自作教材制作委員会D班・AVL

佳作

「ベンチャー企業の一つの姿 成功の条件とは」

自作教材制作委員会A班・AVL

「養鶏農家の努力 安くて安全な玉子のために」

自作教材制作委員会C班・AVL

マルチメディア部門

最優秀賞・教育長賞

「マルチメディア資料『きょうどにつたわるねがい』」

自作教材制作委員会G班・AVL

優秀賞

「マルチメディア資料『家康の命(めい)』」

自作教材制作委員会F班・AVL

優良賞

「わり算」

佳作 緑丘小 笠間 大樹

「小2九九フラッシュカード」 羽根小 安藤 総子

「若者とタバコ」 南中 市川 江梨

この一年の歩み

学習情報指導員 名倉嘉章

「教育の情報化」が進む中、子供たちの学びのための信頼できる教育用コンテンツをいかに提供できるようにするかが、大きな課題となっている。そうした意味で、今年度「岡崎市教育ネットワーク」の子供用ページである「OKリンク」の運用を開始したこの意味は大きい。登録コンテンツも一万点を超えている。

一方、地域に根ざした教育用コンテンツの一つである、自作視聴覚教材コンクールでも、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて4作品が入賞、学習ソフトウェア情報研究センターコンクールにおいて1作品が優秀賞、県自作視聴覚教材コンクールでも、10作品が入賞した(うち2年連続2部門で最優秀賞)。

研究実践においては、文部科学省・総務省による「先進的教育用ネットワークモデル地域事業(学校インターネット1)」「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業(学校インターネット3)」の事業を市内43小中学校が受け、高速ネットワークを活用した授業研究を進めて

いる。小豆坂小学校では、国の委託事業に関する実践研究授業を行い、先導的な取り組みを進めた。松下視聴覚教育研究助成では、甲山中学校と竜南中学校が指定され、研究を進めた。国の指針に従い、施設設備の整備も進んでいる。小学校コンピュータ教室における一人一台環境の実現が、先行導入校2校を除いて全て完了した。校内LAN及び教室に配置するコンピュータの整備も小学校10校が完了し、学校におけるユキピタス(いつでもどこでも)環境が整ってきた。市内小中学校と教育委員会事務局を結ぶ「岡崎教育ネットワーク」も機能を向上させ、利用促進が図られている。今年度はアンケートシステム及び掲示板機能の充実を図った。

こうした状況に合わせて、情報教育推進委員会が市全体のマルチメディア開発事業を推進した。教員研修でも成果をあげ、ほぼ全員がパソコンの操作ができ、授業で活用できる教員が7割を超えた。また、各学校のネットワーク管理者の講習を開始し、現場での利用向上に努めている。今年度もこのように多方面で成果を残すことができ、岡崎の視聴覚教育、情報教育の水準の高さを示すことができた。

実践報告

パソコンを使った卒業作品制作

岡崎市立美川中学校 都築 久治

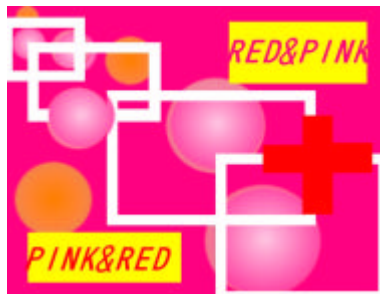
本校では、さまざまな教科においてパソコンを活用して学習している。中でも、3年生の美術で行う卒業制作はたいへんユニークで、毎年ペイントソフトを使って、オリジナルマグカップを制作している。

制作の過程は以下の三つの方法がある。自分で描いた絵をスキャナーで取り込み、その絵をペイントソフトを活用して加工する。マウスを使って、パソコンの画面上で直接絵を描いていく。

持参した写真や、インターネットで写真を取り込み、その写真を切り貼りしたり合成したり、さらにはフィルタをかけて変形する。

そして最終的には、制作したデザインデータのデータをカップに焼き付けて、オリジナルマグカップを完成させるのである。

自分の制作したお気に入りのデザインが入ったマグカップだけに、生徒も楽しみながらかつ、意欲を持って制作に取り組んでいる。今後とも、パソコンを活用して生徒が意欲を持って取り組める授業を展開していきたい。



生徒が制作したデザイン

「レッツ・トライ」

液晶プロジェクターを

授業で活用しよう

二学期から小学校10校に、校内LANが敷設された。本校は、その内の一校であり、ノートパソコンと共に液晶プロジェクター3台が導入された。この液晶プロジェクターとノートパソコンを、普通教室で活用した事例を紹介する。

社会科の授業の導入で「社会科クイズ」をスクリーンに投影した。パワーポイントの持つアニメーションや音の効果が、子供たちの学習意欲を高めることができた。

国語の授業では、コンピュータソフト「あつと 発見島」を利用した。このソフトは、ネットワーク型授業支援ソフトで、校内LANからも利用できる。内容は、小学校の主要教科、総合的な学習の時間で活用する教材が多数収録されている。今回は、普通教室から六年生の教材「ことわざあわせ」を、スクリーンを通して行った。

市教育ネットワークから映像コンテンツを引き出し、社会科の伝統工業の学習では、自作ビデオを大画面で提示することができた。

液晶プロジェクターを使えば、簡単にパソコンの画面を大きく奇麗に映し出すことができる。視聴覚ライブラリーでも手軽に借りられるので、授業で活用して欲しい。

(井田小 学習情報主任

河合 泰宏)



ライブラリーだよ

お知らせ!

「16ミリ映写機及び映画フィルム」

利用方法が変わります」

簡単になりましたので、お気軽にご利用ください。

視聴覚ライブラリーでは、市内の学校・社会教育団体・企業内の教育機関・サークル等の団体を対象に教材・機材の無料貸し出しをしています。

愛知県の「16ミリ映写機操作認定証交付に関する」規定に基づく「映写機操作認定証交付」及び「操作認定講習会」が廃止されます。

四月一日からは、利用の際に窓口で、16ミリ映写機の所定の操作等の体験実習を行っていたいただき、操作等が適性と認められ、視聴覚ライブラリー発行「16ミリ映写機利用許可証」の交付を受けた方は、16ミリ映写機及び映画フィルムの利用ができるようになります。

なお、すでに愛知県発行の「16ミリ映写機操作認定証」をお持ちの方が映写機を操作する場合は、従来どおり映写機及び映画フィルムは利用できます。

視聴覚ライブラリー

2 3 6 7 8 9

編集後記

今年度も岡崎の視聴覚教育の取り組みについてお伝えすることができました。多くの実践事例や情報をお寄せいただきありがとうございます。来年度も一層の充実を図っていきます。